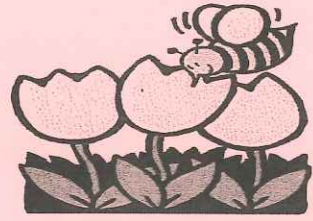


天寿荘ヘルパー便り



2019年 4月発行 274号
文責 天寿会 訪問介護課
金子由美子<74-3101>

『春先に多い虫さされ予防と対処法』

春になり暖かくなると、畑仕事や庭の手入れ、山菜取りなどをする時に、蚊やハチに刺されたり、かぶれたりすることがあります。
特に注意したいのがハチやマダニです。



・蚊に刺された時

刺されて痒みがある時は市販のかゆみ止めを塗りましょう。冷やすと楽になります。
患部を掻いてしまうと細菌に感染することがあるので気を付けましょう。

・ハチに刺された時

刺されると痛みを伴うのは毒液による痛みです。
患部を流水で洗って病院へ行きましょう。
呼吸困難・めまい・意識障害等の症状が現れた時は、直ぐに救急車を呼びましょう。

日中は温かくなり、花壇の花々が色とりどりに咲き、風にゆれています。気温が上がると草取りなどをする機会も増え虫達も活発になり、外に出る時は気を付けなくてははいけません。

そこで今回のテーマは、「春先に多い虫さされ予防と対処法」です。

マダニに咬まれた時

- ・森林や草地などの屋外に生息する大型のダニです。春から秋に活動が活発になります。
- ・皮膚の柔らかい所に咬みつき、数日間かけて吸血します。
- ・病原体を持っているマダニに咬まれると、感染症を引き起こすことがあります。発熱・消化器症状・筋肉痛・関節痛・頭痛・意識障害などがでることがあるので、早目に医療機関に受診しましょう。
- ・咬まれた所のダニを無理に取り除かないで、そのまま医療機関へ受診しましょう。

屋外で活動する時には、

- ①長袖・長ズボン・手袋・靴下を着用し、裾や袖口は、靴下や手袋の中に入れてみましょう。
- ②敷物を使って座りましょう。
- ③防虫スプレーの使用が効果的です。
- ④帰宅後は入浴をして、咬まれたり刺されたりしていないか確認をしましょう。

